

●韓国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が10月26日に公表した2021年第3四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.3%となり、前期の同0.8%から低下した。需要項目別に見ると内需では、最終消費支出は同0.1%で前期の同3.7%から低下した。固定資本形成は同▲1.9%で前期の同▲0.4%からマイナス幅が拡大した。その内訳では建設投資は同▲3.0%で前期の同▲2.3%からマイナス幅が拡大した。設備投資は同▲2.3%で前期の同1.1%からマイナスに転じた。外需である財・サービスの輸出は、石炭・石油製品と機械・機器の輸出が増加して同1.5%となり、前期の同▲2.0%からプラスに転じた。一方で財・サービスの輸入は自動車等の輸送機器の輸入が減少し同▲0.6%となった。

2021年第3四半期の鉱工業生産指数伸び率は季節調整値で前期比0.5%となり、前期の同▲1.2%からプラスに転じた。月次では季節調整値で、2021年8月に前月比2.8%、9月に同3.0%となっている。

2021年第3四半期の失業率は季節調整値で3.0%であった。月次では2021年8月に2.8%、9月は3.0%となっている。

2021年第2四半期の貿易収支（IMF方式）は185億ドルの黒字で前期の196億ドルの黒字から減少している。また8月の貿易収支は56億ドルの黒字であった。

2021年第3四半期の対ドル為替レートは1ドル=1158ウォン、月次では2021年8月に同1161ウォン、9月に同1170ウォン、10月に同1182ウォンと推移している。

2021年第3四半期の消費者物価上昇率は前年同期比2.6%であった。月次では2021年8月に前年同月比2.6%、9月に同2.5%、10月に同3.2%であった。2021年第3四半期の生産者物価上昇率は前年同期比7.4%であった。月次では2021年8月に前年同月比7.4%、9月に同7.5%と推移している。

日韓両国の新型コロナワクチン接種の推移

グラフは日韓両国の新型コロナワクチン接種率を表したものである（点線になっている部分は届け出があった日のデータのみを記載しているため）。

当初、韓国の接種事業の立ち上げは素早く、6月時点では1回目の接種で日本に10ポイントほどの差をつける状況であった。このころ、メディアでは、スマホアプリを利用した韓国の接種システムが紹介さ

れ、話題を呼んでいた。しかし韓国はその後、海外から調達するワクチンの到着が遅れるようになった。このため、7月以降、接種率は頭打ちとなり、特に2回目の接種は日本と比較して遅れることとなった。

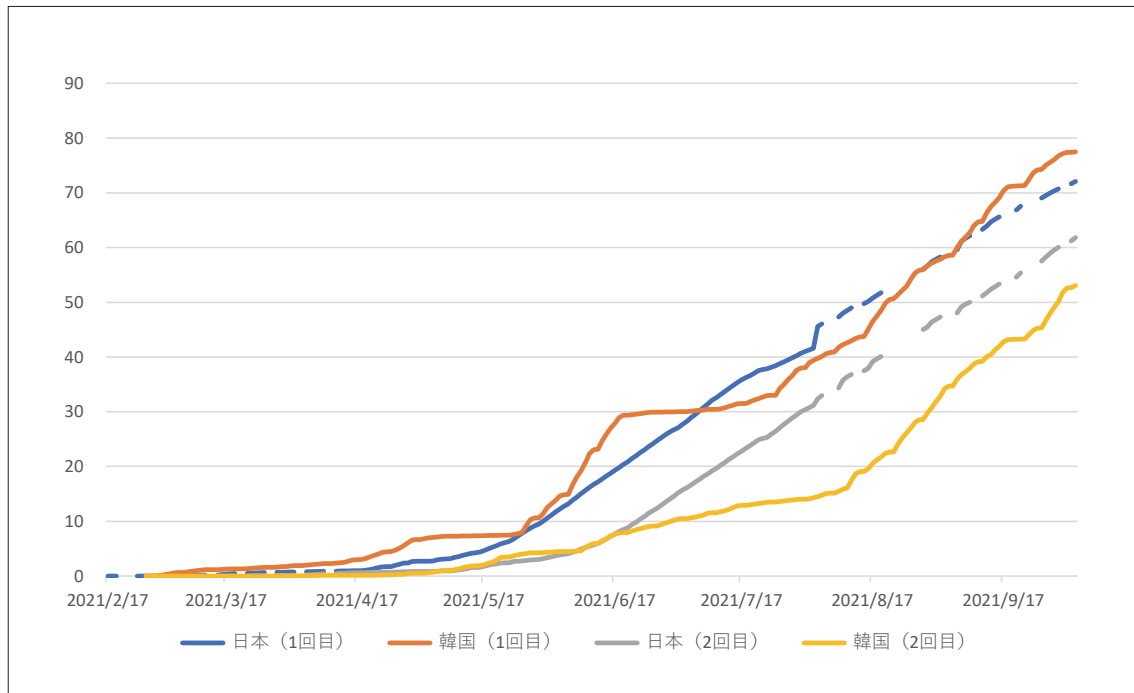
一方の日本は、菅前首相の示した「1日100万回接種」の方針に従って接種を進めていった。一部の個別の地域や職域ではワクチンの不足が生じたが、全体で見ればグラフの通り、接種のペースは1、2回目とも堅調であった。

韓国ではワクチンの不足から、日本で主に使われているファイザー、モデルナ両社のmRNAワクチンに加えて、日本では一部でしか使われていないアストラゼネカ社のワクチンも1千万人以上に接種された。さらに1回目にアストラゼネカのワクチンを接種し、2回目にファイザー等のワクチンを接種した人も100万人以上に上る。

8月下旬以降は、韓国への海外からのワクチンの供給も順調になり、ワクチン接種は再加速した。11月1日現在の両国の2回目の接種率は、韓国は75.64%、日本は72.81%に達しており、先行した欧米各国を凌ぐ水準に達している。

ERINA 調査研究部主任研究員
中島朋義

図 日韓両国の新型コロナワクチン接種率(%)



(出所) Our World in Data、鈴木貞夫名古屋市立大学教授データ提供

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	20年 10-12月	21年 1-3月	4-6月	7-9月	21年8月	9月	10月
実質国内総生産(%)	2.9	3.2	2.9	2.0	▲ 1.0	1.1	1.7	0.8	0.3	-	-	-
最終消費支出(%)	3.0	3.1	3.7	2.9	▲ 2.4	▲ 1.1	1.3	3.7	0.1	-	-	-
固定資本形成(%)	6.6	9.8	▲ 2.2	▲ 2.8	2.6	1.8	2.5	▲ 0.4	▲ 1.9	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	2.2	2.5	1.5	▲ 0.1	0.4	2.9	3.4	▲ 1.2	0.5	0.2	▲ 0.7	-
失業率(%)	3.7	3.7	3.8	3.8	4.0	4.1	4.4	3.7	3.0	2.8	3.0	-
貿易収支(百万USDドル)	116,462	113,593	110,087	79,812	81,945	30,614	19,628	18,545	-	5,636	-	-
輸出(百万USDドル)	511,926	580,310	626,267	556,668	516,604	146,104	145,641	156,150	-	52,221	-	-
輸入(百万USDドル)	395,464	466,717	516,180	476,856	434,659	115,490	126,013	137,605	-	46,585	-	-
為替レート(ウォン/USDドル)	1,160	1,130	1,101	1,166	1,180	1,116	1,115	1,121	1,158	1,161	1,170	1,182
生産者物価(%)	▲ 1.8	3.5	1.9	0.0	▲ 0.5	▲ 0.2	2.4	6.2	7.4	7.4	7.5	-
消費者物価(%)	1.0	1.9	1.5	0.4	0.5	0.4	1.1	2.5	2.6	2.6	2.5	3.2
株価指数(1980.1.4:100)	2,026	2,467	2,041	2,198	2,873	2,873	3,061	3,297	3,069	3,199	3,069	2,971

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2015年基準

貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格

(出所) 韓国銀行、統計庁他